

# Cisco Telnet サービス拒否の脆弱性

<b>Medium</b>	アドバイザーID : cisco-sa-20040827-telnet	<a href="#">CVE-2004-1464</a>
	初公開日 : 2004-08-27 10:00	
	バージョン 2.5 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">5.0</a>	
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCef46191</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

インターネットワークオペレーティングシステム (IOS) <sup>Å®</sup> を実行する Cisco デバイスに Cisco デバイスの telnet または逆 Telnet ポートへのとりわけ巧妙に細工された トランスミッション コントロール プロトコル (TCP) 接続はそれ以上の telnet、逆 telnet、リモートシェル (リモートシェルプロトコル)、セキュア シェル (SSH) および場合によってはハイパーテキスト 転送 プロトコル (HTTP) アクセスをブロックするかもしれません。Data-Link Switching (DLSw; データリンク スイッチング) およびプロトコル変換接続はまた影響を受けるかもしれません。Telnet、逆 telnet、リモートシェルプロトコル、SSH、DLSw および不正利用前に設定されるプロトコル変換セッションは影響を受けていません。

すべてのその他のデバイス サービスは正常に操業しています。パケット転送 (上ごとの DLSw およびプロトコル変換を除いて)、デバイスへのおよびを通したルーティング プロトコルおよび他のすべての通信のようなサービスは影響を受けていません。

Cisco はこの脆弱性に対処するためにフリーソフトを使用できるようにしました。下記に識別される回避策はこの脆弱性から保護しなさいこと利用できます。

この脆弱性は Cisco バグ ID [CSCef46191](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) で文書化されています。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20040827-telnet> で利用できます。

## 該当製品

## 修正済みソフトウェア

この脆弱性は telnet または反転 telnet による割り当てアクセスすべての Cisco デバイスに影響を与えます。 [ソフトウェア バージョン および 修正](#) セクションにリストされている特定の修正済みリソースのないどの IOS トレインでも脆弱考慮する必要があります。

影響を受けるために確認される IOS の一連のリリースは 9.x、10.x、11.x および 12.x です。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

IOS を実行しないシスコ製品は影響を受けていません。

### 改訂履歴

Revision 2.4	2004-December-31	IOS リリースのための情報更新済アベイラビリティの。 12.1E メンテナンスリリースのための訂正された修正済みソフトウェアバージョン。
Revision 2.3	2004-October-31	「ソフトウェア バージョン および 修正」セクションの最初修正済みリソースの更新済表。
Revision 2.2	2004-October-16	「ソフトウェア バージョン および 修正」セクションへの修正されたイメージのアベイラビリティについての追加された情報。
Revision 2.1	2004-September-09	IOS CLI 説明回避策 セクションの IOS CLI を使用してハングさせた TCP 接続をを使用して TCP 接続をのタイトルをクリアすることクリアすること変更しました。 回避策 セクションへの SNMP 説明を使用して消去によってハングさせた TCP 接続を追加しました。
Revision 2.0	2004-September-02	可能性としては影響を受けたプロトコルとして追加された DLSw およびプロトコル変換。 明示的にリストされていた影響を受けた IOS トレイン。 回避策 セクションへの Catalyst スイッチに関する付け加えられたメモ。 IOS CLI によって telnet 問題となる TCP 接続をクリアする追加された回避策。
リビジョン 1.3	2004-August-31	可能性としては影響を受けたプロトコルとして追加された DLSw。 明示的にリストされていた影響を受けた IOS トレイン。 回避策 セクションへの Catalyst スイッチに関する付け加えられたメモ。
リビ	2004-	脆弱性が存在する製品 セクションをア

ジョ ン 1.2	August- 27	アップデートしました。 回避策 セクションの VTY アクセス ク ラス説明を設定することをアップデー トしました。
リビ ジョ ン 1.1	2004- August- 27	詳細 セクションに第 2 段落を追加しま した。 回避策 セクションの VTY アクセス ク ラスおよび設定アクセス リスト ( ACL ) 説明を設定することを変更し ました。
リビ ジョ ン 1.0	2004- August- 27	初回公開リリース

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。